クリニカルパスウェイ
急性炎症の治療を受ける患者さんへ

2016年4月作成
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　**患者氏名**　@PATIENTNAME

	外来	入院1～3日目	入院4日目以降	退院日
日時	月　日	月　日	月　日　以降	月　日
目標		□適切な治療を継続し、炎症の悪化を防ぎましょう	□食事をとり、低栄養・脱水を改善させましょう □感染予防を図り、炎症の再燃を防ぎましょう	□診察後退院となります
食事		□喉の症状に応じて食事形態を考慮し提供します	→	→
活動	□制限はありませんが病態に応じてベッド上安静となります □辛いときは車椅子を使用します	□医師の指示により安静となる場合があります	→	
検査処置	□採血、レントゲン、場合により心電図検査があります 	□4階の耳鼻処置室で診察をします □採血をする場合があります □1日3回ネブライザー、うがい薬でうがいをします □必要に応じて心電図・SPO2モニターを装着します	→	□退院後の外来予約をお受け取りください
薬	□常用薬は医師の指示に従い内服してください 	□病態に応じてステロイドホルモン、抗生剤、解熱鎮痛剤の点滴をします □食事摂取不良の場合は点滴を投与します	→	□退院後、内服する薬がある場合は、病棟でお渡しします
清潔		□医師の指示によりシャワーは可能です □シャワーが出来ない時は必要に応じて体拭きをお手伝いします	→	
指導説明	**<入院持参物品>** □常用薬（7日分） □お薬手帳 □この説明書 □日常生活物品	□看護師より病棟案内を行います □うがい、手洗い、マスクの着用をし感染予防につとめましょう □痛み止めを使用するので、喉の痛みは我慢せず伝えてください □自覚症状（腫れや呼吸困難感など）がある際は速やかにお知らせください。	□点滴の副作用として胃部不快感・むくみ・体重増加・吐き気・発疹・血圧上昇（動悸・頭痛）などがあります。症状がある時は看護師に知らせてください →	**＜退院後の生活について＞** ・感染予防は継続してください ・喫煙は控えてください ・香辛料等、刺激物の摂取は控えてください ・発熱、喉の痛みが再燃した際はすぐに受診してください